

# 地域活性化に関する施策事例、話題提供 他都市における連携事例の話題提供

---

## ■産業

### 【工業・企業立地】

- 4社が操業開始・開始予定、2社増設、2社移設（石巻市）
- 物流関係企業から立地に関する問い合わせの増加（登米市）
- ひびき工業団地で新たに9社が立地（東松島市）
- 産業用地「柳の目北工区」で立地企業3社と協定締結済み（東松島市）
- 業務用音響機器輸入及び販売を行う企業が進出（女川町）
- 木材流通の中間地点として企業誘致施策の検討（南三陸町）

### 【工業・産業団地】

- 産業団地の適地選定調査の実施（調査区域：石巻市近隣の三陸自動車道IC周辺地域）（石巻市）
- ひびき工業団地の分譲、石巻IC近接地に産業用地「柳の目北工区」を新たに整備中（東松島市）
- 工業団地の新規計画（約54.6万ha）（松島町）

### 【計画】

- 「石巻市産業振興計画」における施策体系の取組みを展開（石巻市）

●：本日自治体からご紹介いただく取組事例

## ■観光

### 【観光・周遊】

- 広域観光の促進を目的としたウェブサイト「東北ロードトリップ～三陸特集2022～」(仙台市)
- 宮城サイクルツーリズム(宮城県)
- 仙台からのアクセス性の良さを活かしたマイクロツーリズムの推進(石巻市)
- 新たな観光施設、震災以降、道の駅等を活用した周遊観光の推進(石巻市)
- みちのく潮風トレイル利活用の推進(石巻市、東松島市)
- 三陸沿岸道路沿線の関係自治体との連携強化、観光振興の取組みを計画(東松島市、松島町)
- (一社)石巻圏観光推進機構を中心に2市1町でエリア周遊観光を促す活動(女川町)
- 岩手県大船渡市と南三陸町のワイナリーを結ぶ「ワインツーリズムさんりく」の開催(南三陸町)
- 3.11伝承ロード、東日本大震災伝承施設等の防災ツアーが広域的に展開(南三陸町)

### 【教育】

- 関東圏からの教育旅行増加(教育旅行全体の約60% 約5,600人)(松島町)
- 環境学習を取り入れた教育旅行が増加(南三陸町)

### 【イベント】

- 三陸フリーウェイ等の自治体が連携したイベントへの参加(石巻市)
- 多賀城跡を活用したイベント開催(多賀城創建1300年記念式典等)(多賀城市)
- 仙台圏からのイベント参加者の増加(南三陸町)

●：本日自治体からご紹介いただく取組事例

# 地域活性化に関する施策事例、話題提供

## ■観光

### 【拠点・施設】

- 道の駅「さんさん南三陸」のオープン（南三陸町）
- JRフルーツパーク仙台あらはま、アクアイグニス仙台のオープン（宮城県）
- 復元する多賀城南門を核とした歴史と自然が融和した魅力あふれる中央公園の整備（多賀城市）
- 道の駅三滝堂への来客者数及び売上が微増し、交流人口が拡大（登米市）
- 三陸沿岸道路矢本PA上り線に「道の駅」の整備計画中（東松島市）

### 【広報】

- 三陸沿岸道路利用促進パンフレット作成事業（R4 道・絆プロジェクト）（気仙沼市）
- 三陸復興国立公園協会への参画による観光PR（石巻市）
- 沿線PAに観光パンフレットを配架（登米市）

## ■医療

### 【救急医療】

- 石巻地区の病院への救急搬送の増加（登米市）

●：本日自治体からご紹介いただく取組事例

- ① 石巻市 : 石巻市企業立地ガイド2022
- ② 仙台市 : 東北ロードトリップ推進事業(概要)
- ③ 南三陸町 : 道の駅 さんさん南三陸
- ④ 宮城県 : 震災復興・伝承みやぎルートについて
- ⑤ 気仙沼市 : 道・絆プロジェクトを活用した  
「るるぶ特別編集『三陸』(仮)」の作成

# ①石巻市：石巻市企業立地ガイド2022

---



## Ishinomaki Business Location Guide 2022

---

石巻市企業立地ガイド 2022

---

# 石巻市企業立地ガイド2022

## 石巻市の魅力



石巻市は海洋性の気候であり、内陸部と比較すると寒暖の差が少なく、東北地方の中では1年を通じて比較的温暖な気候となっています。年平均気温は12度程度と、酷暑が少ないうえ冬の降雪量も東北の中では少なく、1年を通して過ごしやすい気候です。

また、「食を活かした元気な石巻」都市宣言を掲げ、ふるさとが与えてくれる豊かな食の恵みや郷土料理、「おもてなしの心」を大切にしながら、健康と活力と魅力ある地域づくりを推進しています。

その他にも「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に認定された「石ノ森萬画館」や、「奥州三疊場」の1つ「金華山」、「猫の島」として全国的に有名な「田代島」、とても長い延長875.47mの「石巻魚市場」、芸術文化センターと博物館を集約した「マルホンまきあーとテラス」など多様な魅力が詰まっています。



マルホンまきあーとテラス

## 石巻市のセールスポイント

### 優れた交通アクセス

三陸縦貫自動車道の圏域内8つのインターチェンジにより東北自動車道と連絡しています。仙台市や仙台空港まで鉄道又は高速道路を利用して、約1時間の距離であり、JR仙石線、仙石東北ラインの利用で仙台圏からの通勤も可能です。交通機能が充実し、アクセスにも非常に優れています。

### 安心して子育てができる環境

- 18歳までの子ども医療費(通院・入院)について、所得制限なしで自己負担額分を助成します。
- 「一時保育」、「延長保育」、「休日保育」、「病後児保育」など保育ニーズの多様化に対応した保育環境があります。
- 子どもの預かり事業として、「ファミリーサポート事業」を実施し、「育児ヘルパー事業」で家事・育児のお手伝いもしています。

### 安定した雇用環境

- 石巻専修大学ほか、7つの高等学校に加え高等技術専門学校が所在し、雇用情勢は堅調に推移しています。
- 高校卒業時の就職先として、就職希望者の約半数が石巻市内での就職を希望しており、安定した雇用環境を有しています。

### 豊かな自然・独自の技術力

- 石巻市は北上川の河口に位置し、宮城県東北部地域を代表する風光明媚な都市です。
- 仙台塩釜港石巻港区、石巻漁港を有し、木材関連、食品、飼料、鉄鋼、造船等の企業が集積し、内陸部には独自の高い技術力や先端技術を有し、高付加価値製品を製造している企業も所在しております。



## 人口・世帯数・面積ほか

マンガアイランドしまろっジ(田代島)



大須崎(雄勝地区)



石ノ森萬画館



石巻魚市場



人口	137,868人
世帯	61,964世帯
面積	554.55km <sup>2</sup>

令和4年3月現在

産業人口構成比	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第一次産業…7.4%</li> <li>● 第二次産業…28.9%</li> <li>● 第三次産業…63.7%</li> </ul>
---------	--

※令和2年10月国勢調査

医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院:8施設</li> <li>● 診療所:102施設</li> </ul>
----	---

※令和4年4月1日 宮城県内の医療機関(病院・診療所)名簿

教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼稚園・保育園・保育所:69施設</li> <li>● 小学校:33校</li> <li>● 中学校:19校</li> <li>● 高等学校:7校</li> <li>● 大学:石巻専修大学</li> <li>● 専門学校:宮城県立石巻高等技術専門学校</li> </ul>
----	---

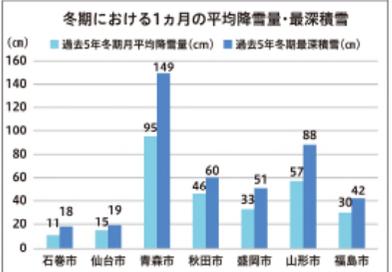
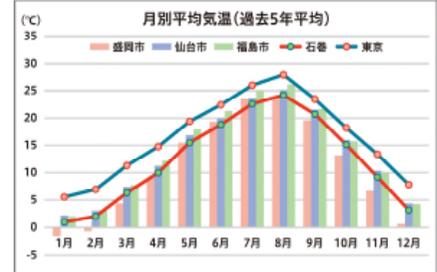
## ってどんなところ?

## 石巻市の気象

年	降水量(mm)合計	気温(°C)			日照時間(h)
		日平均	最高	最低	
平成29	1068.0	11.8	31.8	-7.7	2000.9
平成30	929.5	12.4	36.1	-7.8	2066.5
令和元	1359.5	12.5	34.1	-6.5	2112.1
令和2	1002.0	12.6	35.1	-5.0	1841.5
令和3	1073.5	12.7	32.8	-11.1	2130.5

石巻市統計書(令和4年3月)

### 石巻市の月別平均気温と冬期における平均降雪量・最深積雪の他都市との比較

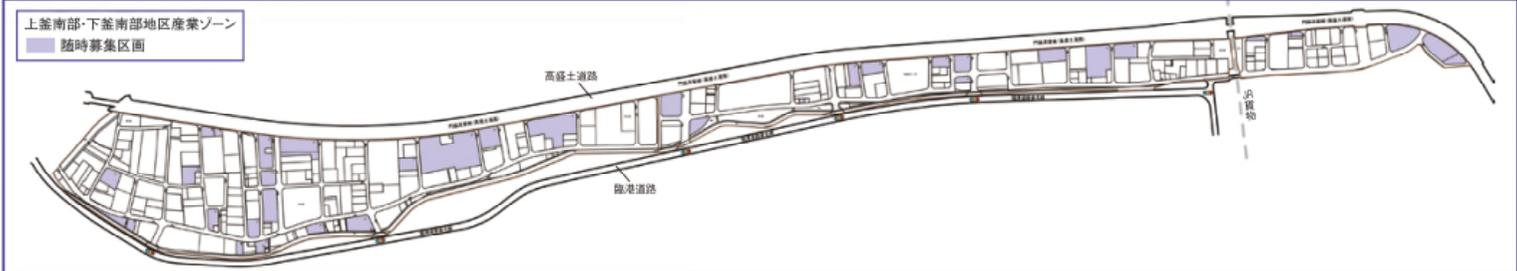


## 産業用地

Ishinomaki City Industrial site

### 上釜南部・下釜南部地区産業ゾーン

- 国際拠点港湾「仙台塩釜港石巻港区」の背後地であり、製紙、木材加工、飼肥料製造及び関連産業が集積しています。
- 三陸縦貫自動車道石巻ICから南東4.2kmに位置し、交通アクセスも良好です。



総面積	約63.0ヘクタール
分譲予定面積	約10.1ヘクタール(予定:44面地)
形状等	一部造成中(臨時募集区画有)
都市計画用途地域	工業地域、準工業地域
建ぺい率	建ぺい率 60%、容積率 200%
臨時募集分譲価格	11,300円/㎡から30,000円/㎡
電力	東北電力にて個別相談
上下水道	あり
工業用水	なし

### 湊西地区産業ゾーン

- 特定第三種漁港「石巻漁港」の背後地であり、周辺には、水産加工及び関連産業が集積しています。
- 三陸縦貫自動車道石巻河南ICから南東6.0kmに位置し、石巻かわみなど大橋の開通により、交通アクセスが更に向上しました。

総面積	約40.4ヘクタール
分譲予定面積	約4.8ヘクタール(予定:17面地)
形状等	造成済(臨時募集区画有)
都市計画用途地域	工業地域、準工業地域
建ぺい率	建ぺい率 60%、容積率 200%
臨時募集分譲価格	13,000円/㎡から18,800円/㎡
電力	東北電力にて個別相談
上下水道	あり
工業用水	なし



### 産業用地位置図



※その他、内陸部には前山団地があります。(裏面の地図参照)

石巻市企業立地等  
促進条例による

## 優遇制度

Incentive system

### 各種助成金

石巻市内へ工場・事業所等を新設・増設・移設する際に、一定の要件を満たす場合、以下の助成金を申請することができます。(令和4年6月時点の優遇制度内容)

～対象となる業種(日本標準産業分類による)～

A: 植物工場 B: 閉鎖循環式陸上養殖 E: 製造業 F: バイオマス発電所 (工業専用地域限定)  
H: 道路貨物運送業・倉庫業・運輸に付帯するサービス業 I: 卸売業 L: 自然科学研究所  
M: 旅館・ホテル R: 自動車整備業・機械修理業、電気機械器具修理業

#### 企業立地助成金

**限度額**  
**なし(5年間)**

投下固定資産に課せられた固定資産税額と同額を5年間交付

※新設等に要した投下固定資産分が対象

#### 環境対策助成金

**限度額**  
**1,000万円(1回限り)**

太陽光発電等の再生可能エネルギー設備、公害防止及びそれに附属する設備、空調設備の設置、緑化に要する経費の50%相当額を交付

※新設のみ対象

#### 雇用奨励助成金

**新設の場合**  
**100万円/人(限度額なし)**

**増設・移設の場合**  
**20万円/人(限度額なし)**

「新規雇用者」の人数に応じて、1年間継続雇用後に交付

※対象地域限定で【増設・移設 40万円/人(限度額なし)】

#### 上水道料金助成金

**限度額**  
**1,000万円/年(5年間)**

「上水道料金または淡水化、地下水利用の維持・運用費」の50%相当額を5年間交付

※対象地域限定  
※新設のみ対象

#### 事業継続対策助成金

**限度額**  
**1,000万円(1回限り)**

災害発生時における事業継続に係る設備等を導入した経費の50%相当額を交付

※対象地域限定  
※平常時使用できるものは対象外

#### 用地取得費助成金

**限度額**  
**1億円(1回限り)**

(「用地取得費/㎡ - 12,000円/㎡」) × 用地取得面積 × 新設: 50%

(「用地取得費/㎡ - 12,000円/㎡」) × 用地取得面積 × 増設・移設: 25%

※対象地域限定

～情報関連・バックオフィス等指定企業者(日本標準産業分類による)～

G: ソフトウェア業 G: 情報処理・提供サービス業 G: インターネット付随サービス業  
G: データセンター、コールセンター業 (R: サービス業 G: 情報通信業 I: 卸売業・小売業 J: 金融・保険業)  
BPO オフィス (R: サービス業 G: 情報通信業 J: 金融・保険業)

#### 企業立地への助成金

**限度額**  
**1,000万円(1回限り)**

固定資産課税台帳に登録された価格の10%分を交付

※新設等に要した投下固定資産分が対象

#### 事業所の賃貸借への助成金

**限度額**  
**100万円/年(5年間)**

年間賃料の10%を交付

#### 雇用奨励への助成金

**新設の場合**  
**100万円/人(限度額なし)**

**増設・移設の場合**  
**20万円/人(限度額なし)**

「新規雇用者」の人数に応じて、1年間継続雇用後に交付

※対象地域限定で【増設・移設 40万円/人(限度額なし)】

詳細な要件等につきましては、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

石巻市 産業部 産業推進課

TEL.0225-21-2021

### その他の優遇制度

#### 原子力発電施設等周辺地域 企業立地支援事業 F補助金

全国の対象市町村数: 72自治体 = 4%のみ対象  
全国の市町村数: 1,724自治体

#### 電気料金の約40%補助

※新設、増設の状況や電気料金によって割合は増減します。

工場、事業所などを新設または増設し、電力会社との新規契約などを行った場合、支払った電気料金等に基づいて算出される給付金が最大で8年間支給されます。

- 新規申請および特別増設の対象企業  
原則として、自らの事業の用に供する事業所を新設または増設した企業
- 主要要件
  1. 事業所の新設、増設に伴い、契約電気及び電気料金の増加があること
  2. 新規雇用者が3人以上あること(雇用保険の一般被保険者に限る)
  3. 製造業または石巻市企業立地等促進条例やその他石巻市が条例等で定める業種
- 対象地域  
旧石巻市、旧河北町、旧雄勝町、旧牡鹿町

交付要件等に合致する必要がありますので、詳細につきましては下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先 石巻市 産業部 産業推進課 TEL.0225-21-2021

#### みやぎ企業立地奨励金

(令和4年4月1日時点)

- 奨励金制度の概要  
宮城県内に工場等を新設、増設又は大規模増設した企業に対し、「投下固定資産額」及び「新規雇用者数」に応じて奨励金を交付します。
- 要件  
・投下固定資産額(土地を除く、建物及び償却資産等)が1億円以上  
・工場等の新設・増設にともなう新規雇用者数が3人以上
- 奨励金交付額算定基準(一部抜粋)

【表1】	投下固定資産額	新規雇用者数	奨励金交付率	交付限度額
①	100億円以上	300人以上	投下固定資産額×10%	40億円
②	50億円以上	100人以上	投下固定資産額×10%	20億円
③	20億円以上	50人以上	投下固定資産額×7%	7億円
④	1億円以上	20人以上	投下固定資産額×5%	5億円
⑤	1億円以上	3人以上	投下固定資産額×3%	3億円

【表2】	投下固定資産額	新規雇用者数	奨励金交付率	交付限度額
①	50億円以上	100人以上	投下固定資産額×5%	5億円
②	20億円以上	50人以上	投下固定資産額×3.5%	3億円
③	1億円以上	20人以上	投下固定資産額×2.5%	2億円
④	1億円以上	3人以上	投下固定資産額×1.5%	1億円

【表3】	投下固定資産額	新規雇用者数	奨励金交付率	交付限度額
①	100億円以上	300人以上	投下固定資産額×10%	20億円
②	50億円以上	100人以上	投下固定資産額×10%	10億円
③	20億円以上	50人以上	投下固定資産額×7%	3.5億円
④	1億円以上	20人以上	投下固定資産額×5%	2.5億円
⑤	1億円以上	3人以上	投下固定資産額×3%	1.5億円

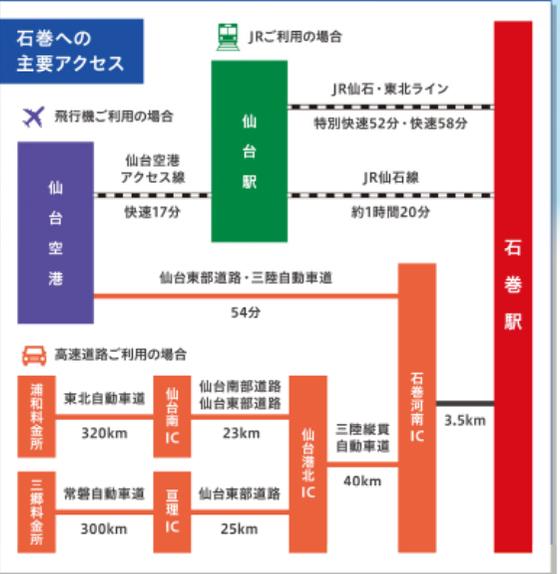
- ご活用にあたって  
注1. 奨励金制度の適用を受けるためには、工場等の建築工事の着手30日前までの申請が必要ですので、お早めにご相談ください。  
注2. 「投下固定資産額」は「取得価格」ではなく「固定資産税の課税標準額」になります。また、建物や償却資産等の賃借料の一部(1年目の賃借料の3分の1)を算定に含めることができます。  
注3. 「新規雇用者」とは、雇用期間の定めのない者に限ります。  
注4. 国や市町村等の補助率2分の1を超える補助金等との併用はできません。

詳細な要件等につきましては、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先 宮城県 経済商工観光部 産業立地推進課 TEL.022-211-2733

※これらの優遇制度・補助金等は令和4年6月現在のものです。

# 石巻市企業立地ガイド2022



お問合せ先

宮城県石巻市産業部産業推進課  
 〒986-8501 宮城県石巻市殿町14番1号  
 TEL: 0225-21-2021 (直通) FAX: 0225-21-2022  
 URL: <https://www.city.ishinomaki.lg.jp/> E-mail: [isindstr@city.ishinomaki.lg.jp](mailto:isindstr@city.ishinomaki.lg.jp)



企業誘致情報

## ②仙台市：東北ロードトリップ推進事業（概要）

---

## 1. 目的

東北地方は少子高齢化や首都圏への流出等による人口減少に直面しており、地域経済維持のため交流人口の拡大・活性化が急務である。三陸復興道路・復興支援道路の開通により、仙台から三陸地域へのアクセスが向上したことを契機と捉え、仙台から三陸地域へのドライブ観光を促進し、交流人口の拡大を図る。

## 2. 実施内容

### 1 「東北ロードトリップ～三陸特集2022～」サイト制作

三陸復興道路・復興支援道路の沿線自治体等の観光コンテンツを、県域や市町村域に捉われずに発信するウェブサイトを作成し、順次コンテンツを追加していく。

#### ●観光スポット



館鼻岸壁朝市  
(青森県八戸市)



宮古うみねこ丸  
(岩手県宮古市)



White Deer (Oshika)  
(宮城県石巻市)

#### ●ドライブモデルコース

・«仙台・塩竈・松島»

伊達政宗ゆかりの地を巡る  
歴史満喫ドライブコース

・«登米・南三陸・気仙沼»

海の町・気仙沼 & 森の町・登米。  
ゆっくりキラキラドライブコース



### 2 レンタカー割引プランの販売

トヨタレンタリース宮城と連携し、レンタカーの割引プランを販売。非マイカー保有車のドライブ観光も推進する。

(例) ・ヴィッツクラス (24時間)  
8,250円 ▶ 5,500円  
・プリウスクラス (24時間)  
14,410円 ▶ 9,350円



### 3 インスタグラムキャンペーンの実施（予定：11月～2月末）

Instagramにおいて共通ハッシュタグを設定し、三陸のスポットを投稿すると、抽選でプレゼントが当たるキャンペーンを企画中。

各市町村や観光協会等のアカウントとの相互フォローも実施。



・商品（案）

三陸の特産品が詰まったカタログギフト



## 3. ウェブサイト

東北ロードトリップ～三陸特集2022～  
<https://tohokusendai-roadtrip.jp/>



## 4. 実施体制

【実施主体】仙台市文化観光局東北連携推進室  
【事務局】株式会社 J T B コミュニケーションデザイン

## 5. 次年度以降の展開

対象地域を三陸以外（日本海側や南東北等）に順次拡大し、東北全体の交流人口の拡大を図ることを予定している。

## ③南三陸町：道の駅 さんさん南三陸

---

## ◆道の駅「さんさん南三陸」の概要

- トイレや簡易パーキングなどの休憩機能
- 町全体の観光の情報提供や案内を行う観光ゲートウェイ機能
- 町民や観光客がふれあい、学びあう交流機能



**令和4年10月1日(土) オープン**  
**利用者数 18,486人(令和4年10月17日現在)**

## ◆道の駅さんさん南三陸のコンセプト

### 南三陸町の元気と交流を創造する道の駅 ～想いが交わる心の駅～

- ①「森里海ひと いのちめぐるまち」を発信する拠点
- ②ポータルセンター機能（町外者への情報発信、町民の交流の場）を拡充しながら継承する拠点
- ③震災と創造の架け橋となる拠点

#### 【道の駅コンセプトに基づく機能】

「森里海ひといのちめぐるまち」を  
発信する機能

- 商店街
- 「エコタウンへの挑戦」発信機能

ポータルセンター機能を  
拡充しながら継承する機能

- 観光情報発信・地域交流拠点機能

震災と創造の架け橋となる機能

- 震災伝承機能

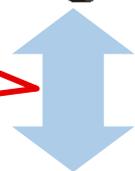
## ◆公共交通ターミナル「JR志津川駅」

### BRT、高速バス、町内乗合バスが利用する公共交通ターミナルの整備

【都市間移動】  
高速バス(仙台～気仙沼)



三陸沿岸道路を利用



【交通結節機能】  
道の駅  
さんさん南三陸



【地域内移動】  
BRT



【生活移動】  
町内乗合バス



JR志津川駅  
(販売窓口、BRTロケーションシステム等)



公共交通ターミナル

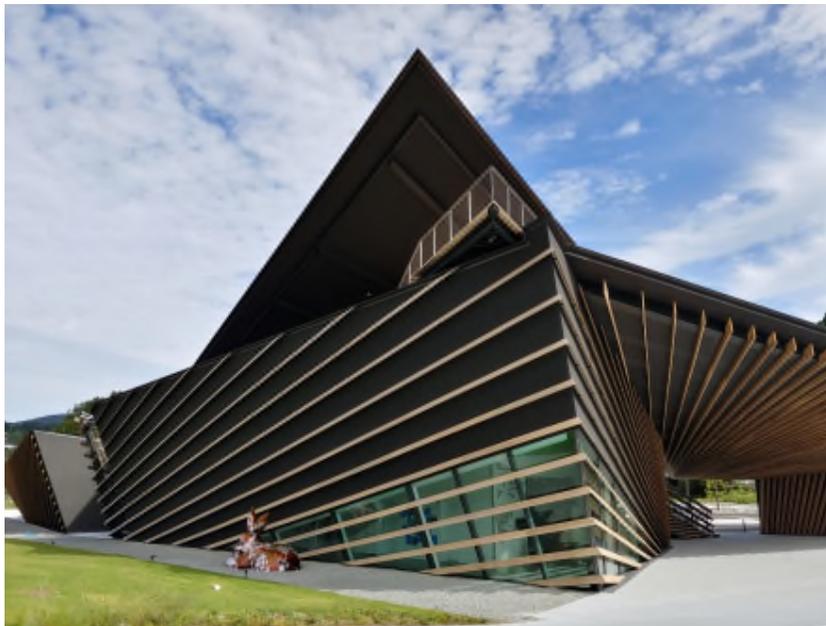


乗降場

公共交通利用者の利便性向上・交通の円滑化

## ◆震災伝承館「南三陸311メモリアル」

### 東日本大震災の被災状況や各種支援に対する感謝を伝える場



#### みんなの広場<無料ゾーン>

MINNA NO HIROBA  
感謝と生きる喜びを伝える

#### 展示ギャラリー<有料ゾーン>

EXHIBITION GALLERY  
住民の記憶と経験を伝承する

#### 多目的トイレ

#### 展望デッキ(2F)<無料ゾーン>

OBSERVATION DECK  
いのちに思いを馳せる

#### ラーニングシアター<有料ゾーン>

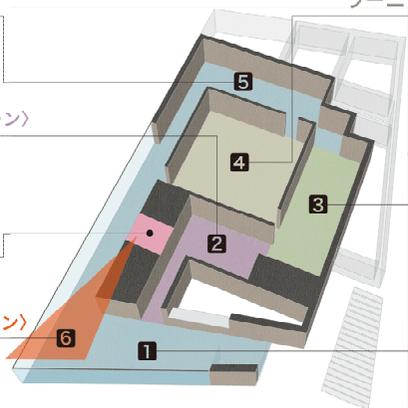
LEARNING THEATER  
住民の証言に耳を傾け、  
語り合い、考える

#### アートゾーン<有料ゾーン>

ART ZONE  
失われた命を思う

#### エントランス<無料ゾーン>

ENTRANCE  
南三陸町における東日本大震災を知る



## ■ラーニングプログラム

PROGRAM 3

### 今日から実践できる「防災1アクション」を持ち帰る簡単ワークショップ ～南三陸のケーススタディを活かして【学校編】～



災害が起こると、学校は地域の避難所となることを想定しておく必要があります。教員も生徒も地域の人たちと一緒に避難所生活を営みます。学校が持ち合わせている機能をどのように活かし、生徒はどんな役割を果たすことができるのでしょうか。震災当時、生徒・教員として学校で被災した地域住民の証言映像を視聴し、参加者で話し合っていた。今日から学校や家族で実践できる防災アクションを考え、持ち帰っていただくワークショッププログラムです。

会場：南三陸ポータルセンター等 所要時間：約50分

このプログラムで配布するワークシートを活用しながら進めます。ワークシートを持ち帰って、日頃の防災に役立ててください。

▶ 予約

個人

▶ 予約

教育旅行・研修など団体

PROGRAM 4

### 今日から実践できる「防災1アクション」を持ち帰る簡単ワークショップ ～南三陸のケーススタディを活かして【一般編】～



自然災害は、いつどこでどんな状況で起こるかわかりません。被害想定が読めない場合や、家が被災して居られない場合など、日常では考えられない状況になります。危機から自分の命を守ると同時に、家族の安全をすばやく確認するにはどうしたらよいか、被災時家族との連絡が取れない状態をした地域住民の証言映像を視聴し、参加者で話し合っていた。今日から家族や個人が実践できる防災アクションを持ち帰っていただくワークショッププログラムです。

会場：南三陸ポータルセンター等 所要時間：約50分

このプログラムで配布するワークシートを活用しながら進めます。ワークシートを持ち帰って、日頃の防災に役立ててください。

▶ 予約

個人

▶ 予約

教育旅行・研修など団体

## ◆南三陸ポータルセンター

### まちの魅力を提供する地域観光の情報発信拠点

- 南三陸町を訪れる方の玄関口
- 地域のお店や商品、サービスやプログラム情報を提供

### 人々が集い、交流する拠点

- 語り部講話や地域資源を活用した教育旅行、ワークショップ等の提供拠点として地域の方とビジターの交流促進を図る場所
- 交流ルーム（貸し部屋）は会議や勉強会、交流会や持込イベント等で多目的に活用

#### 【各種機能】

- 観光案内窓口、ツアーデスク
- 簡単お土産づくり体験
- レンタサイクル貸出窓口
- ミニ物販コーナー
- フリーWi-Fi完備

#### 【各ツアーの予約状況(10月)】

- 語り部（講話バス）：449名
- バス案内：377名
- まち歩き語り部：113名





## ◆今後の展開・期待

- 三陸沿岸道路の志津川ICで降車し、海の見える方に向かって進んでいただくと間もなく道の駅「さんさん南三陸」が右手に見える
- 道の駅「さんさん南三陸」には商店街、伝承館、交通ターミナル等の施設が集合

**観光やお買い物、防災の学びの場所として多くの皆様にご利用いただけることを期待**

## ④宮城県：宮城サイクルツアーリズム

---

## 目的

サイクルツーリズムを推進し、国内外からサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光による地域の活性化

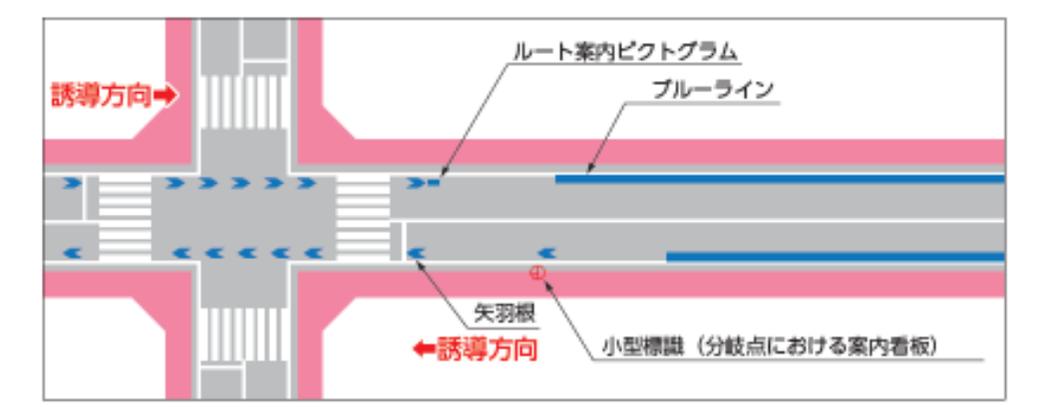
## ルート概要

山元町～気仙沼市間の沿岸地域の海産物等の魅力を活かしつつ、東日本大震災の伝承施設等を巡るもの

## 設定経緯

令和元年度に宮城サイクルツーリズム協議会（国，県，県警，交通事業者等）が関係市町村の意見を踏まえ、ルートを設定

## 整備イメージ



**南三陸～気仙沼エリア**

気仙沼駅、進ムカエル、リアス・アーク美術館、気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館、道の駅大谷海岸

**東松島～石巻エリア**

高野会館、道の駅津山、道の駅上品の郷、震災伝承 スペースつなぐ館、石巻市かわまち交流センター（かわべい）、東日本大震災メモリアル南浜 つなぐ館

**塩竈～松島エリア**

塩竈駅、石巻ニューゼ、三陸復興鉄道、石田沢防災センター、塩竈市津波防災センター、東松島市 東日本大震災復興記念公園

**岩沼～仙台エリア**

岩沼市 千年希望の丘交流センター、仙台空港、仙台市立荒浜小学校、名取市 震災メモリアル公園

**■ サイクルステーション**

ルート上の一定間隔でサイクリストがいつでも休憩できるよう環境整備を進める予定です。  
トイレの利用 / 空気入れの貸出し / 水分補給 / 休憩スペース / 設備 / サイクルラック / サイクリングに必要な情報発信等  
▲ サイクルステーション整備 かわまちでらび路上

**■ ゲートウェイ**

ルート上の起終点の施設では、利用者の快適で安全な利用をサポートするための機能が利用可能となるよう整備を進める予定です。  
レンタサイクル又はシェアサイクルの利用 / サイクリングに必要な情報発信 / 必要な物品や食料の販売 / 手荷物用ロッカー / 着替えのスペースなどの整備等

▲ ゲートウェイ整備 やまもと夢いちこの郷

**【凡例】**

- 基本ルート：約280km
- アクセルルート：約90km
- ゲートウェイ整備
- サイクルステーション整備（約10kmごと）
- ゲートウェイ、サイクルステーション両方
- 主な震災伝承施設

▲ ゲートウェイ整備 やまもと夢いちこの郷

震災伝承施設一覧はこちら

0 5 10 20 km

## ➤ 令和4年度の取り組み状況

- 気仙沼市において、内湾地区の「迎（ムカエル）」から大島の「気仙沼大島ウェルカム・ターミナル」までの延長約8.4kmを整備
- 整備内容  
矢羽根，ブルーライン，距離表示ピクト，各種看板

整備状況：気仙沼大島大橋



## ➤ 活用事例

震災復興・伝承みやぎルートを用いて、気仙沼市内の内湾地区から大島までのポタリングを実施



写真：ポタリングの様子

※気仙沼まちなかエリアプラットフォームが企画

## ➤ 今後の予定

- 今年度は、東松島市，名取市内についても整備に着手
- 残りの区間についても来年度以降に，関係市町村と調整し，順次，整備に着手する予定
- 市町村と調整を図り，地域部会を立ち上げ，沿岸部と内陸部を結ぶ地域ルートの検討を行う



図：気仙沼市内の整備状況（県施工区間）

## ⑤気仙沼市：道・絆プロジェクトを活用した 「るるぶ特別編集『三陸』（仮）」の作成

---



○取組内容

三陸沿岸道路の活用による更なる観光誘客と周遊観光を促し、三陸沿岸地域の活性化につなげるため、**三陸沿岸都市会議の構成7市（八戸市、久慈市、宮古市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、気仙沼市）が連携し、地域の魅力やアクセスルートをわかりやすく伝える「るるぶ特別編集『三陸』（仮）」を作成するもの。**

＜特別編集の例＞



出展：JTBパブリッシング

- 三陸沿岸北部地域の周遊モデルコースや、沿岸7市の紹介、各地の食・観光スポット・土産品などについて掲載
- 旅行者がアクセスしやすいよう電子ブックも作成予定
- 令和5年3月発行予定とし、三陸沿岸北部地域の観光施設や道の駅等に順次配架予定
- 道・絆プロジェクトの令和4年度支援対象事業に採択

＜POINT＞

三陸沿岸地域の県を跨ぐ広域的な連携により、地域一丸となって交流人口の拡大に取り組む

- ① 道の駅のゲートウェイ化  
【道の駅「米沢」(山形県)】
- ② 道の駅のゲートウェイ化  
【道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」(静岡県)】
- ③ テーマ別観光(ニューツーリズム)の企画・実施  
【東北中央自動車道(山形県)】

# ①道の駅のゲートウェイ化

## 【道の駅「米沢」(山形県)】

---

# ①道の駅のゲートウェイ化(道の駅「米沢」(山形県))

- 高速バスや路線バス等の停留所やカーシェアスペースを設置し、地域内と地域外の総合的な交通結節点を構築。
- ワンコインタクシーや電動レンタサイクルも実施しており、道の駅を拠点とした広域的な周遊が可能。

## 道の駅「米沢」

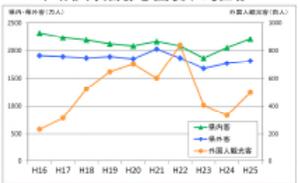
## 山形県 米沢市

- 国際交流協会等の関係機関と連携を図り、観光総合窓口を開設。県全域周遊観光のゲートウェイとして国内外に広く情報発信。
- 地理的優位性を活かし東京・福島方面からの観光客をターゲットに高速道路・高速バスと連携した交通結節点(P&R)を構築。
- 県全域のインバウンド対応を始めとした多様な特産品や体験型観光の情報を含む複数の観光ルートを提供する拠点。

### <地方創生拠点としての機能>

#### ゲートウェイ型

#### ▼山形県観光客数の推移



外国人観光客は震災で半減  
道の駅を拠点に震災前水準に戻りつつある国内客に加えて外国客を増やし、観光客全体の増加を目指す

出典：県内客、県外客・・・山形県観光客数調査  
外国人観光客・・・外国人旅行者山形県受入要綱調査

#### インバウンド対応



外国人観光客にも対応した観光総合窓口を道の駅に設置(さくらんぼ農園での風景)

### <提案の先駆性・ポイント>

- 山形県全域の周遊観光を支援するため、県内全域の情報発信だけでなく、宿泊施設や交通機関の予約が可能な観光総合窓口の設置
- 高速バス、観光周遊バス、路線バスの停留所やカーシェアスペースを設置し、地域内と地域外の総合的な交通結節点として機能

観光総合窓口  
山形県の南の玄関口における観光拠点

インバウンド観光  
新たな需要創出

産業振興  
体験型観光と地域特産品に発信

#### 上杉まつり



米沢市最大イベントの上杉まつりをはじめ、県内各地のイベント情報を道の駅で発信

#### 米沢牛



国内屈指の米沢牛をはじめ「山形ブランド」を道の駅で堪能

#### 交通結節点イメージ



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
米沢	山形県	米沢市	(主)米沢高島線	新設	平成29年度	一体型



※イメージ図のため、今後変更あり

### <実施内容>

- 「高速バスからレンタカー」「自家用車から観光周遊バス」に乗り継ぐ、パーク&ライド施設を整備
- 外国人観光客にも対応した山形県全域をカバーする観光総合窓口を設置
- 特産品の展示施設・地域イベント体験施設や農産物加工施設の設置



出典：道の駅「米沢」JHP  
[https://michinoeki-yonezawa.jp/pages/access?anchor=a3]



出典：東北中央自動車道の利活用促進による地域活性化協議会  
[https://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/road/tochu\_kassai/pdf/R3\_1\_doc9.pdf]

## ②道の駅のゲートウェイ化

【道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」(静岡県)】

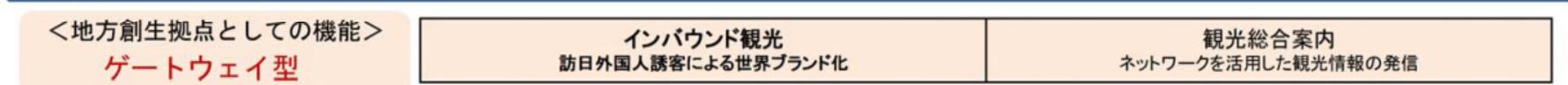
---

# ②道の駅のゲートウェイ化(道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」(静岡県))

- 伊豆全体の情報発信拠点を整備し、一体となった観光情報の発信することで、周遊観光の促進。
- 外国人への連携対応、ノウハウ共有により、インバウンド観光の対応力を強化。

## 重点「道の駅」 伊豆道の駅ネットワーク 静岡県伊豆地域(7市6町)

- 伊豆半島の玄関口にあたる道の駅伊豆ゲートウェイ函南に伊豆全体の情報発信拠点を整備
- 伊豆半島内にある8駅の道の駅を「ネットワーク化」し、地域の多様な観光情報を道の駅を起点に一体的に発信するとともに、外国人対応等を各駅が連携(機能補完)して行うことにより、伊豆半島圏域の周遊観光を促進し観光競争力を強化



●豊富な観光資源  
 伊豆地域は、豊かな自然による風光明媚な景観と、文学や歴史、グルメや富士山を望めるロケーションなど多様な観光資源が豊富に点在



●道の駅のネットワーク化『相乗効果』を発揮  
 【伊豆の魅力向上】 市町ごとにバラバラの観光情報を一体的に情報発信(伊豆半島全域の多様な観光資源をPR)  
 【外国人対応力強化】 既存・新設のデジタル・ジャパン案内所との連携による機能補完や、既存駅とのノウハウ共有

●情報発信拠点の整備  
 伊豆半島の道の駅の玄関口に立地する「道の駅伊豆ゲートウェイ函南」において、伊豆全体の情報発信拠点を整備

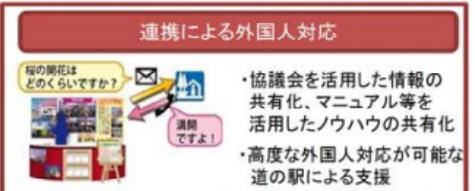
**道の駅 伊豆ゲートウェイ函南**

情報発信・地産品販売による地域活性化・防災拠点機能を兼ね備えた道の駅を整備

イメージパース

伊豆ゲートウェイ函南

- 伊豆半島の情報発信拠点
- 観光情報
- 道の駅・道路情報
- ジオパーク情報



駅名	設置者	路線	設置年度	駅名	設置者	路線	設置年度
①伊豆マリンタウン	伊東市	国道135号	平成14年	⑥下賀茂温泉湯の花	南伊豆市	国道136号	平成21年
②開国下田みなと	下田市	国道135号	平成15年	⑦くるら戸田	沼津市	国道18号	平成26年
③天城越え	伊豆市	国道414号	平成10年	⑧伊豆ゲートウェイ函南	函南町	国道136号	平成29年
④伊豆のへそ	伊豆の国市	国道414号	平成17年	⑨伊豆月ヶ瀬	伊豆市	国道414号	令和元年
⑤花の三聖苑伊豆松崎	松崎市	国道15号	平成7年				

※伊豆半島内の道の駅

<提案の先駆性・ポイント>

- ネットワーク化: 道の駅及び県・7市6町の行政及び観光協会、国交省等の連携
- インバウンド観光: 外国人案内所等の設置を進めるとともに、外国人への連携対応、ノウハウ共有で、圏域としてのインバウンド対応力を強化
- 観光総合窓口: 伊豆全体の観光情報を地域協働により収集し、道の駅を核として発信することで、周遊観光の推進による圏域の競争力を強化

<実施内容>

- 伊豆全体の情報発信拠点となる「道の駅」伊豆ゲートウェイ函南を整備
- インバウンド観光の促進(外国人案内所登録、免税店登録、対応マニュアル等)
- 伊豆が一体となった観光情報の発信(Webアプリ、外国語対応)
- 道の駅、駅内情報提供施設への誘導方策改善(ゲートサイン、大型マップ等)
- 道の駅及び周辺の体験型観光の情報発信(リーフレット等)

## ③テーマ別観光(ニューツーリズム)の企画・実施 【東北中央自動車道(山形県)】

---

# ③テーマ別観光(ニューツーリズム)の企画・実施(東北中央自動車道(山形県))

- グリーンツーリズム等のテーマ別観光(ニューツーリズム)の企画・実施し、イベントも開催。
- 既存資源の活用により、広域的な周遊観光を促進し、地域活性化を支援。

### 1 酒蔵ツーリズム

日本酒を醸造、貯蔵する酒蔵を訪れ、生産工程を見学し、試飲し、酒に合う料理を味わい、生産者と交流する旅のこと。各地で「酒蔵ツーリズム」創造による地域活性化の取組みが盛んとなり、多くの訪日外国人旅行者が酒蔵を訪れ、日本酒を楽しみ始めています。



### 2 ワインツーリズム

地域のワイナリーやブドウ畑を訪れ、その土地の自然、文化、歴史、暮らしに触れ、つくり手や地元の人々と交流し、ワインやその土地の料理を味わう旅のこと。各地のワインが集まるワインイベントも開催されています。



### 3 サイクルツーリズム

自転車に乗りながら、地域の自然や地元の人々、食事や温泉などあらゆる観光資源を五感で感じ、楽しむことを目的とした旅のこと。サイクリングイベントも多数開催され、多くの参加者が来訪しています。



**YONEZAWA E-BIKE RENTALS**

電動自転車に乗って 米沢をのんびり 遊んでみませんか?

電動レンタルサイクル事業(委託)

YONETAWA E-BIKE RENTALS

YONETAWA E-BIKE RENTALS

### 4 ロケ・フィルムツーリズム

映画やテレビドラマなどの映像作品の舞台となったロケ地や原作の舞台を訪れる旅のこと。ロケ誘致や撮影支援、ロケ地を巡るマップ作成などにより国内外からの誘客に取り組んでいます。

**山形おきたまフィルムコミッション**

**YAMAGATA LOCATION MAP**

山形市ロケ地マップ 出典:山形フィルム・コミッション(山形市)

物産が似合うまち、山形市を歩こう。

山形市ロケ地マップ 出典:山形フィルム・コミッション(山形市)

## テーマ別観光(ニューツーリズム)やワーケーション等で地域活性化!



**凡例**

通過IC(有料)	通過IC(無料)

●通過IC-JCTは緑色

### トピックス

地域活性化の具体的な取組み

**アドベンチャーツーリズム事業(DMOさくらんぼ山形)**

- ・アドベンチャーツーリズム:アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち2つ以上で構成される旅行
- ・DMOさくらんぼ山形:山形市を中心に山形県中央部にある村山地域の7市7町の自治体及び観光関係団体で構成する地域連携DMO(観光地域づくり組織)で、スクールメリットを活かした広域観光推進に向け、旅行商品の造成や観光地域づくり人材の育成に取り組んでいます。
- ・事業内容:ファミリー層をターゲットに、「現地でのクルマ旅」を軸として、クルマだからこそ立ち寄れる場所、見ることのできる風景、忘れられない体験をSNS等により情報発信し、キャンピングカー、ファミリーカー、SUVなどでの車中泊やオートキャンプをはじめ、立ち寄った先でのアクティビティを存分に味わうことができるコンテンツを制作しています。

### 5 インフラツーリズム

ダム、橋、港、歴史的な施設等、インフラ施設を観光するもの。巨大な構造物のダイナミックな景観を楽しんだり、普段は入れないインフラの内部や今しか見られない工事風景などの非日常的な体験を味わうことができるほか、ガイドの案内を聞いた展示物を見て回ること、インフラ施設の役割やつくられた背景を学ぶことができます。



### 6 グリーンツーリズム

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。四季を通した様々なイベント・体験プログラムの実施や、ふるさと納税返礼品として農泊体験チケットや農園ランチめぐり食事券の発行などに取り組んでいます。

**農泊体験券2022**

農泊体験券2022

農泊体験券2022

農泊体験券2022



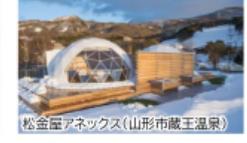
### 8 ヘルス・医療ツーリズム

科学的根拠に基づく健康増進を理念に、旅をきっかけに健康増進・維持・回復・疾病予防に寄与するもの。山形市では、平成25年に上山型温泉クアールト®構想を策定し、全国に先駆けて官民一体となった「心と体がうろうま」づくりに取り組んでいます。 ※ドイツ語で「健康保養地・療養地」を指す言葉



### 7 グランピング

グラマラス(優雅な、魅力的な)とキャンピングを掛け合わせた造語で、テント設置や食事や道具の準備が不要なため、気軽に豪華なキャンプを楽しむことができます。



### 9 移住体験・ツアー・ワーケーション

東北中央自動車道の沿線の各地で移住を体験できる宿泊・周遊ツアーが開催されています。また、魅力的で豊かな観光資源や温泉が多数あり、ワーケーションにも最適です。

**移住体験**

移住体験

移住体験

移住体験

### 大自然の中で充実した時間を満喫



### 山形市 オートキャンプ移住体験ツアー



# 道・絆プロジェクトについて

---

## 参考 「道・絆プロジェクト2022」公募要項

プロジェクトの目的	復興道路及び復興支援道路を活用した広域的な連携交流の支援
公募対象の要件	事業エリア：三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路、東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）、東北中央自動車道（相馬～福島）の沿線地域（青森県、岩手県、宮城県、福島県） 実施主体：事業エリアに所在する地方公共団体・民間団体、及びそれらの連携組織、実行委員会等
対象テーマ	（Ⅰ）広域観光の促進と地域連携による観光戦略 （Ⅱ）広域連携による新たな産業の振興 （Ⅲ）防災・減災に向けた広域的な連携による地域活性化

### 【復興道路・復興支援道路情報サイト】

URL：<http://www.thr.mlit.go.jp/road/fukkou/content/mkproject/index.html>

※QRコードはこちら ⇒

